CHUBU UNIVERSITY

前画面へ戻る

科目名	老年看護学Ⅰ（概論）
科目名（英訳）	Gerontological Nursing Ⅰ (Concept and Theory)
科目ナンバー	LK185D01
詳細情報	授業外学修時間：週4時間
担当者 （非）は非常勤講師	緒形 明美 森 幸弘
単位数	1
開講学年	2年
開講セメスター	秋期前半
対象学科 選択・必修	必修：LK 選択：
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP（ディプロマ・ポリシー）	本科目は学科専門科目の中の、老年期にある人々を対象とした「看護介入科目」であり、加齢に伴う心身の機能変化と高齢者の健康維持・増進、疾病時の援助方法を習得する科目である。既修の生命健康科学基盤科目、看護アセスメント実習、基礎看護技術Ⅰ（生活援助）、基礎看護技術Ⅱ（治療支援）との統合をしながら老年期を生きる人々への健康支援のあり方を学ぶ。 【ディプロマ・ポリシー（DP）】2024年度入学生以降対象 ②-（1）：◎ ③-（4）：〇
身につく基礎力 ／ 身につく汎用力	プレゼンテーション力 ディスカッション力 ／ 専門的知識・技能 思考力 多様性

授業の主旨 （概要）	老年期の発達課題を踏まえ、高齢者の加齢による身体、精神・心理的特徴および高齢者を取り巻く社会動向や制度について学習し、高齢者看護の特性を理解する。また高齢者を支える制度、高齢者の人権と倫理、尊厳、ICFモデルについても学習する。 【実務経験のある教員等による授業科目】 該当教員1：緒形 明美 実務経験内容：看護師として公的病院に7年11か月（循環器センター・ICU・消化器内科）、高齢者施設で2年勤務した 授業内容との関連性：老年期にある人々を対象とした「看護介入科目」であり、看護師としての実務経験を踏まえて、加齢に伴う心身の機能変化と高齢者の健康維持・増進、疾病時の援助方法さらに老年期を生きる人々への健康支援のあり方を教授する。 該当教員2：森 幸弘 実務経験内容：大学病院において、主に内科（消化器、腎臓、救急内科）の看護師として8年間勤務した。 授業内容との関連性：老年期にある人々を対象とした「看護介入科目」であり、看護師としての実務経験を踏まえて、加齢に伴う心身の機能変化と高齢者の健康維持・増進、疾病時の援助方法さらに老年期を生きる人々への健康支援のあり方を教授する。
具体的 達成目標	1. 高齢者の全人的理解、発達課題について説明できる。 2. 高齢者の加齢に伴う身体的変化、心理、精神機能の変化について説明できる。 3. 高齢者を取り巻く社会動向の現状と課題について説明できる。 4. 高齢者を支える制度と、地域包括支援について説明できる。 5. 高齢者看護の特性と人権・倫理的問題について説明できる。 6. 高齢者看護のためのICFモデルについて考えることができる。

1	【内容】	1.高齢者の対象理解
	【授業外学習】	講義内容から老年期のにある対象者の全人的理解、および発達課題について予習・復習する。
2	【内容】	2.加齢に伴う変化：身体機能の生理的変化
	【授業外学習】	講義内容から老年期の身体的特徴について項目の教科書該当頁を一読し、重要箇所にマーカーを入れ予習し、疑問点を明らかにする。講義後は、教科書該当頁と授業資料を照らし合わせ復習する。
3	【内容】	3.加齢に伴う変化：心理・精神機能の変化
	【授業外学習】	講義内容から老年期の心理・精神機能の特徴について項目の教科書該当頁を一読し、重要箇所にマーカーを入れ予習し、疑問点を明らかにする。講義後は、教科書該当頁と授業資料を照らし合わせ復習する。

授業計画

4	【内容】	4.高齢者を取りまく社会・超高齢社会の現状と課題
	【授業外学習】	講義内容から、高齢者を取りまく社会・超高齢社会の現状と課題について項目の教科書該当頁を一読し、重要箇所にマーカーを入れ予習し、疑問点を明らかにする。講義後は、教科書該当頁と授業資料を照らし合わせ復習する。
5	【内容】	5.高齢者を支える制度と地域包括支援
	【授業外学習】	講義内容から、高齢者を支える制度と地域包括支援について項目の教科書該当頁を一読し、重要箇所にマーカーを入れ予習し、疑問点を明らかにする。講義後は、教科書該当頁と授業資料を照らし合わせ復習する。
6	【内容】	6.高齢者看護の特性と人権・倫理的問題
	【授業外学習】	講義内容から高齢者看護の特性と人権・倫理的問題について項目の教科書該当頁を一読し、重要箇所にマーカーを入れ予習し、疑問点を明らかにする。講義後は、教科書該当頁と授業資料を照らし合わせ復習する。
7	【内容】	7.高齢者看護のためのICFモデル
	【授業外学習】	老年看護のためのICFモデルについて項目の教科書該当頁を一読し、重要箇所にマーカーを入れ予習し、疑問点を明らかにする。講義後は、教科書該当頁と授業資料を照らし合わせ復習する。
8	【内容】	8.講義のまとめ・定期試験
	【授業外学習】	

授業方法

講義を主体として授業を行う
課題レポートのフィードバックは毎回Course powerにて行う。

成績の評価方法

以下の3点を総合的に評価する。
①定期試験
②課題レポート：「高齢者との対話からの学び」・「高齢者に関するニュース、または高齢者に関する書籍からの学び」
③受講態度：出席率・授業態度

成績の評価基準

・原則として6回以上の出席をもって受験資格を与える。
・定期試験：80点、課題レポート：15点、受講態度：5点とする。100点満点中、60点以上を合格とする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
1.	『ﾅｰｼﾝｸﾞ･ｸﾞﾗﾌｨｶ 老年看護学① 高齢者の健康と障害』	堀内ふき他	メディカ出版	3400	ISBN978-4-8404-7840-3

参考文献

No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
1.	『令和6年版高齢社会白書』	内閣府	日経印刷	2,970	4865794298

備考

関連ホームページ

メールアドレス

緒形 明美 std2929@fsc.chubu.ac.jp
森 幸弘 moriyuki0821@fsc.chubu.ac.jp

オフィスアワー

前画面へ戻る

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011